# 60点の夫婦でいいのにの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

#### ■アンケート調査概要

調査目的	60点の夫婦でいいのにの漫画の感想レ ビューに関するアンケート調査
調査対象	60点の夫婦でいいのにを読んだことのある20 代~50代の男女22名
調査期間	2025年5月20日~2025年5月27日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/60tennohuhudeiinoni/

#### ■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えて下さい。

Q2:60点の夫婦でいいのにを実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1:年代と性別を教えて下さい。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	2人
30代女性	3人
40代男性	6人
40代女性	9人
50代男性	2人
50代女性	0人

### Q2:60点の夫婦でいいのにの感想を教えて下さい。

『60点の夫婦で いいのに』1巻	近所で暮らす専業主婦の円佳さんが凄く気になりました。 一見すると美人だし性格もよいしと素敵な女性です。 でも陰で浮かべている笑顔とか怪しいですし、よからぬことを考えていそう。 円佳さんが今後どういう行動を起こすのか気になりました。 沙紀さん夫婦に関しては、沙紀さんにイラっとしました。 暴言を吐き続ける尚弥さんは最悪ですけど、それを助長させているのは言われっぱなしになっている沙紀さんなんですよね。 もう少ししっかりして欲しいって感じました。
『60点の夫婦で いいのに』1巻	なんにも手伝ってくれないのに、すべてに点数をつけてくる夫との生活なんて相当息苦しいだろうなと感じました。そんな扱いをされても怒らないなんて、沙紀さんの忍耐強さには脱帽です。そして円佳さんの意味深な発言や、尚弥から連絡を受けて差し入れを持ってきたあたりから、この二人は不倫関係にあるのではないかと思いました。
『60点の夫婦で いいのに』1巻	結婚前は優しかった尚弥が、パートとして働きながら育児もこなす沙紀のことを、あらゆる場面で100点満点で評価してくるところにイラッと来ました。特に、風邪をひいた娘の看病で食事作りや頼まれていたアイロン掛けができなかったことを責め、こともあろうに同じマンション内に住む不倫相手の円佳にわざと食事を持ってこさせ、沙紀の妻のとしての出来を批判する態度には、ムカつきが止まりませんでした。
『60点の夫婦で いいのに』2巻	円佳ママのマウントの場面が本当にむかつきますね。あんな言い方されたら誰だって気分が悪くなります。でも紗希がその言動に我慢している感じが健気でいいですね。あそこで言い返すと紗希まで、なんだが嫌な感じに映るのであの対応で良かったと私は思います。この2人が実は因縁の関係だと分かるのでその展開も面白いです。
『60点の夫婦で いいのに』2巻	尚弥から100点だと言われた円佳のことを、娘が転んだときにすぐに絆創膏を貼ってくれるなど、一時は納得できると感じたものの、実は娘はケガなどしていなくて絆創膏を貼る必要もなかったことや、同じキャラクターの絆創膏をなぜか尚弥もお腹に貼っていたことから、沙紀が2人の関係を怪しく思い始めるところにドキドキしました。それを確認しようとする沙紀に対し、チクチク嫌味をいってマウントを取る円佳に、一緒に復讐してやりたい気持ちがムクムク湧いてきてしまいました。
『60点の夫婦で いいのに』2巻	夫尚弥の妻沙紀に対しての態度、尚弥の浮気やモラハラ、不倫相手の円佳、それぞれにムカムカした感情が沸き上がってきます。それだけに、第2巻で始まる沙紀の復讐劇には感情移入ができますし、読みながら沙紀を応援してきたくなります。私は男性ですが以前の沙紀と同じ立場でしたので、自分に当てはめて考えると余計に共感したくなってきました。必然的に次の展開が気になって仕方ありません。
『60点の夫婦で いいのに』3巻	不倫してることに気が付いてから命令に従うのをやめた主人公。夫婦は対等な関係。もっと前から命令に反発してもよかったのでは。こんな夫と子供を育てても子供に悪影響を及ぼすだけ。言わなくても子供はちゃんと分かっているものです。それよりはお母さんが楽しそうに笑顔でいる方が全然いい。離婚の決意をして本当によかった。
『60点の夫婦で いいのに』3巻	陽菜ちゃんの「ハナマル」発言に思わずウルッとしてしまいました。ママ友さんたちも味方になってくれそうで良かったです、ただ離婚するだけでなく、できれば尚弥のほうに原因があるということをハッキリさせる形で別れられるよう、沙紀さんには立ち回りを頑張ってほしいと思います。ラストで登場した円佳さんの旦那さんがキーパーソンになりそうだなと思いました。
『60点の夫婦で いいのに』3巻	尚弥と円佳の関係を知ってしまった沙紀の様子に気づいた娘から、ママははなまると言われ、ママ友にさり気なく尚弥のことを相談したのがきっかけで、マンション内から0点夫として噂されるところにスッキリしました。それどころか、そのことに対して怒りをあらわにしてきた尚弥に、自分は100点の妻は目指さないと言い切るところや、円佳の夫に話を切り出すところに、復讐へのゴングが鳴った気がしました。
『60点の夫婦で いいのに』4巻	前回のエピソードでは離婚を考えていた沙紀でしたが、やはり子どものことも考えていろいろ葛藤 しているのが伝わってきました。そんな苦悩も知らず、夫は相変わらずモラハラを続けているの

	で、早く酷い目にあえと思いながら読んでいる自分がいました。ただ今回のエピソードからは、沙紀に味方が増えるなど希望のある場面もあるので、これからも見届けたくなりました。
『60点の夫婦で いいのに』4巻	なんでここに円佳がやってくるのかと歯がゆい思いをしましたが、なんとか彼女の夫に不倫の事実を突きつけることができて。なのにまさか驚きもしない。何度も繰り返していたとは。確かに離婚というのは社会的影響も大きく、仕方ないとあきらめる人もいるでしょう。そんな夫ですが、証拠写真を撮る協力をしてくれてよかったですね。
『60点の夫婦で いいのに』4巻	まさか知っていてスル―してたとは。彼が手綱を締めててくれたら更に不倫されて沙紀に悪影響を及ぼすことはなかったのですが、しょうがありません。彼はそういった道を選んだのですから。ほんと、夫婦の在り方ってさまざまですね。そして表面的には分からないという。不倫写真を撮ることができたのですから反撃開始となるのでしょうか。
『60点の夫婦で いいのに』5巻	不倫された仲間、お互いに気持ちが分かりあえて良いことです。一人で悩んでると暗く暗くなっていっちゃいますから。それにしても、人それぞれに不倫に対する受け止め方は異なるものですが男性だと親権が取れない。そのあたりも気にしないといけないので大変ですね。陽子のアドバイス、ナイス。持つべきものは不倫について詳しい仲間たちです。
『60点の夫婦で いいのに』5巻	不倫された側は被害者。とはいえ今も母親神話というか、女性の側が親権を取るべきといった考え方は強いんですよね。だから不倫されて即離婚とはいかない男性側。いろいろと勉強になりました。それにしても、泉といい洋子といい、いい仲間が増えました。一人で悩んでたら出てこない解決策も見つかるはず。そしてまんまと証拠をつかまれる尚弥はざまあみろです。
『60点の夫婦で いいのに』5巻	とにかく尚弥が、そして円佳がクズすぎてむかつきます。ですが爪の甘さもある二人、動かぬ証拠をつかんだ沙紀、よかったですね。スカッとできました。でも証拠をどう生かすかは人それぞれなんですね。こんなクズでも母親である以上は円佳が親権を取る可能性がある。男って不利です。これからどうなるのか、泉の方も心配です。
『60点の夫婦で いいのに』6巻	娘である陽菜がどこにもいないことに動揺している紗希の姿が印象的でした。でも夫の尚弥が全 く陽菜を探そうともしないのでその言動には腹が立ちましたね。ちゃんと父親としての自覚は本当 にあるのでしょうか。その辺が尚弥には欠けているようで本当に嫌になりますね。紗希が彼に対 して愛想をつかす気持ちがよりわかりました。
『60点の夫婦で いいのに』6巻	こんな夫本当にいるのでしょうか。そのくらい尚弥の言動には目に余る行動が多いです。娘のことをちゃんと見てもいないで1人スマホに夢中になっているだらけた姿にイライラしましたね。紗希1人が陽菜の心配をしている感じでその光景には本当に不思議でなりませんでした。結局陽菜は見つかるので安心しましたが親からしたら本当に不安ですよね。その感じがより深く伝わりました。
『60点の夫婦で いいのに』6巻	どんなに冷たい人間でもいい。せめて子供が行方不明になった時くらいは取り乱してほしい。夫の最低さが浮き彫りになった事件でした。浮気はまだわからないでもない。人を好きになる気持ちを止めることなどできない。ですがこれは、人として最低。スマホで遊んでる場合じゃあないでしょう。こんな奴の元にいたら子供もおかしくなる。
『60点の夫婦で いいのに』7巻	紗希の尚弥に対しての冷たい顔が最高ですね。今まで気の弱い紗希でしたが、その面影はもうありません。それどころか尚弥よりも強い立場にいる感じですごく爽快ですね。今までの尚弥の行動にむかついている感じが紗希のオーラから滲み出ていたのでその部分が本当に良かったです。早く離婚してほしい気持ちでいっぱいですが、陽菜のこともあるので簡単にはいきませんよね。
『60点の夫婦で いいのに』7巻	この作品のメインキャラ尚弥は本当にクズな性格をしていますね。不倫関係である円佳に飽きたとか言い出す始末で一体何様なんだと思いますね、そんな言動を繰り返しているので本当に罰が下ってほしいと常に考えてしまいます。紗希がそんな彼に天誅を加えてくれそうな雰囲気をひしひしと感じられるのでそこがとても面白いです。

『60点の夫婦で いいのに』7巻	この作品の何が面白いかというとキャラ達のセリフの応酬がわかりやすくて面白いです。紗希が 尚弥に対して強気な態度で接する姿に言い知れない爽快感があって本当にいいですね。個人的 に紗希がクールな顔で尚弥に迫っているシーンは最高です。尚弥が言いくるめられて悔しそうに しているのが本当に見応えがあってかなりドキドキします。
『60点の夫婦で いいのに』8巻	これまで溜め込んできた鬱憤をすべて晴らしてくれた。 そんな展開で、今回はすごく面白かったです。 まず尚弥と円佳の公開処刑シーンにはスカっとしました。 これまでの態度から、どちらもギャフンと言わせたいと思っていたんですよね。 離婚を突きつけられて落胆する姿は気持ち良すぎました。 その後の展開も良かったです。 沙紀も宗一郎も無事離婚することが出来ましたし、穏やかな生活を送れるようになっていました。 この二人には幸せになって欲しいと感じていただけに、本当に良かったです。 一方尚弥と円佳の末路は悲惨なものに。 見事なザマア展開になっていて、面白かったです。

## 漫画全参『部屋

by ㈱グリュックス